

JSA 神奈川支部通信

No. 4 April 2025 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：https://jsa-kanagawa.jp、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円, 院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 神奈川県大学人有志声明 日本学術会議法案に反対する 神奈川県大学人有志
- ◆ 事務局長談話：日本学術会議の法人化に向けた法整備に反対する JSA 事務局長 竹内 智
- ◆ 気候変動と海洋環境 中野 広
- ◆ 神奈川県国民運動実行委員会が国会議員要請統一行動を実施 後藤仁敏
- ◆ 横浜教科書採択連絡会が学習会「どうなっている？ 今の授業と教科書」を開催 後藤仁敏
- ◆ 明るい県政をつくる会が総会と県予算案の学習会を開催 後藤仁敏

神奈川県大学人有志声明 日本学術会議法案に反対します

神奈川県大学人有志

2025 年 2 月 27 日、神奈川県大学人有志 16 名が日本学術会議法案に反対する声明を発表し、県庁で記者会見を開きました。以下は、その声明文とそれを報じた神奈川新聞の記事です。

報道によれば、政府は現在、この 1 月から開会されている通常国会において、日本学術会議（以下「学術会議」）のありかたを抜本的に改める法案を提出することを予定しています。今回の法案は、昨年 12 月 20 日に提出された、日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会の最終報告書（以下「報告書」）に基づくものと見られます。

報告書は、表面ではナショナルアカデミーとしての日本学術会議の独立性の尊重をうたっているものの、さまざまな問題があり、特に、法律により学術会議を法人化し、かつ、外部者から成る「選考助言委員会」、「運営助言委員会」、「レビュー委員会（評価委員会）」、「監事」の設置を定めるとする点で大きな問題があります。

報告書は、学術会議を「国の機関」から「独立した法人格を有する組織」に転換するとしています。その理由として報告は、独立した法人とすることは、学術会議の独立性・自律性を保障するのにふさわしいかのように述べていますが、それは妥当ではありません。国から独立した法人とすることで、政府は財政支援を理由にこの法人の業務を監督、評価することになり、それを通じて結果としてより一層、政治権力が学術会議をコントロールする力を得るおそれがあります。

また、報告書は「多様なステークホルダー」の理解を得る必要性を訴え、学術会議の会員選考に関しては、産業界など外部者から成る「選考助言委員会」を、運営に関しては、やはり外部者から成る「運営助言委員会」を設置することを法定すべきであるとしています。さらに、学術会議の活動・運営の点検・評価に関連して、主務大臣任命のレビュー委員会（評価委員会）、「監事」を置

くことを法定することを提言しています。こうした制度は、産業界等の外部者や政府任命の委員を通じて、ときの政権や官僚機構、財界などが、それぞれの政策方針、目的・利害に沿って学術会議の活動に干渉することを可能とし、それによって学術会議の自律性を脅かすものとなります。

学術研究全体を代表するナショナルアカデミーである学術会議は、憲法 23 条で保障された学問の自由の原則からして、政治権力から自立し、かつ企業の利潤追求上の利害から独立して自律的に運営されなくてはなりません。それこそが、学術活動が真に社会の健全な発展に寄与する根本的な前提ともなります。

現在のように政府が学術会議のありかたを変えようとする動きは、2020 年、当時の菅首相が学術会議会員候補のうち 6 名の任命を拒否したことであらわになったものでした。この任命拒否に対しては市民、学研究会から広汎な抗議の声があがり、神奈川県では私たちも含め、県民約 3 万筆の署名による抗議がなされました。それにもかかわらず、任命拒否は依然として撤回されていないどころか、逆に政府による学術会議への介入を強めるための法律制定の試みを政府側は続けており、今回、政府が上程しようとしている法案はその延長上にあると言えます。

こうした政府の動きの背景には、自律性を保っている現在の学術会議を変質させ、政府や政府側にある諸勢力の意向を学術研究にストレートに反映させようとする意志があると考えられます。特に軍事研究問題に関して、学術会議が長年にわたって、軍学共同には慎重であるべき旨、声明等を通じて訴えてきたことと、政府与党側がそのような学術会議の姿勢に不満を持っていることは、この問題と明らかに関連があります。したがって、今回の法律制定をめざす政府の動きの背景にも、軍学共同、軍産学共同を進めるため、その政策のために学術会議を動員するためという意図があることは、大いに考えられます。

私たち、神奈川県在職、在勤（元を含む）または在住の大学研究者有志は、この問題に対する声を研究分野の垣根を越えて各地域で挙げる試みも必要であるという観点から、ここに声明を発表し、学問の自由を守り、学術の健全で自由な発展を保障するため、それによって真の意味での人類社会の発展に学術が寄与できるようにするために、この法案に反対するよう、また政府に対して、2020 年の会員候補任命拒否の理由の説明し、当該 6 名の候補を速やかに任命することを求めるよう、広く呼びかけるものであります。

2025 年 2 月 27 日 神奈川県大学人有志

阿部浩己（明治学院大学教授・国際法学）、小野塚知二（東京大学特任教授／同名誉教授・経済学／西洋史学）、久保新一（関東学院大学名誉教授・経済学）、後藤仁敏（鶴見大学名誉教授・解剖学／古生物学）、小林節（慶応義塾大学名誉教授・憲法学）、小森田秋夫（神奈川大学名誉教授／比較法学）、清水雅彦（日本体育大学教授・憲法学）、惣田昱夫（静岡理工科大学元教授・環境微生物／廃棄物工学）、中島三千男（神奈川大学元学長・日本史学）、中西新太郎（横浜市立大学名誉教授・社会学）、永岑三千輝（横浜市立大学名誉教授・経済学／西洋史学）、永山茂樹（東海大学教授・憲法学）、藤谷英男（麻布大学名誉教授・分子生物学）、古川隆久（日本大学教授・日本史学）、山根徹也（横浜市立大学教授・西洋史学）、山本泰生（横浜国立大学名誉教授・ドイツ思想／ドイツ文学）

法人化「自律性脅かす」

学術会議
政府法案 県内学者有志、反対声明

日本学術会議の組織見直しに向けて政府が開会中の通常国会に提出予定の日本学術会議法案を巡り、県内在住・在勤の大学教員有志ら16人が27日、「学術会議の自律性を脅かす」などとする反対声明を発表した。法案では2026年10月に学術会議を「国の特別機関」から「特殊法人」へ移行させ、首相任命の監事を新設して業務や財務を監査する内容などが盛り込まれる方向だ。国は新法人を財政的に支援する。一方で、



日本学術会議法案への反対声明を発表する横浜市立大の山根教授（中央）ら

27日、県庁

学術会議側には監事などを通じて政府の関与が強まることへの警戒感が強い。声明では「時の政権や官僚機構などによる学術会議の活動への干渉を可能にする」「学術会議の自律性を変質させ、政府の意向を学術研究にストレートに反映させようとする意志がある」と考えられる。などと法案への反対理由を説明。20年に当時の菅義偉首相が会員候補6人の任命を拒否したことが発端になっているとも指摘し、6人の速やかな任命を政府に求めた。

声明に名を連ねた横浜市立大の山根徹也教授、鶴見大の後藤仁敏名誉教授、日本体育大の清水雅彦教授が27日に県庁で記者会見。取りまとめに当たった山根教授は「学問の自由や学術会議の自律性が脅かされれば、学術研究の成果を活用する全ての国民が打撃を受ける。学者を中心に法案の問題点を指摘する声が上がりに始めているが、国民一人一人が自分たちの自由や権利と地続きの問題として考えてほしい」と訴えた。

（大槻 和久）

事務局長談話：日本学術会議の法人化に向けた法整備に反対する

2025 年 1 月 17 日 日本科学者会議事務局長 竹内 智

日本学術会議は、これまで一貫してアカデミーとしての独立した立場から様々な見解の表明、助言、勧告等を行ってきた。また、真理の探究による科学研究の成果が平和のために奉仕すべきものであるとの立場から、軍事研究には加担しないことを表明してきた。その日本学術会議に対して、2020 年 10 月、菅首相（当時）が新たに推薦された会員の一部の任命を拒否した。それ以降、政府はその組織形態や運営方針について露骨な介入を続けてきている。



2023 年 8 月に政府が設置した「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」も、当初から、新会員の任命拒否という日本学術会議の独立性を大きく毀損する行為については何一つ反省することなく、日本学術会議の独立性を確保するためには、国とは別の法人格を持つ組織へと転換することが不可欠だという逆転した論理を展開した。そして、昨年 12 月 20 日付で決定した最終報告書「世界最高のナショナルアカデミーを目指して～日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会最終報告書」で、日本学術会議法人化の方針を明確にした。これを受けてこの問題を所管する坂井学内閣府特命担当相は同日の閣議後の記者会見で、政府としてこの報告書を受け取ったことを明らかにし、「速やかに法制化の作業を進めたい」と述べた。

この報告書は、法人化に伴う組織の運営や会員選考に対する国の側からの介入強化に対する日本学術会議側からの数々の懸念に何ら答えることなく、「国による財政的支援とガバナンスへのコミットメントとはトレードオフの関係にある」との基本認識に立っている。そしてこのような認識から主務大臣が任命する委員からなる「レビュー委員会（評価委員会）」や同じく主務大臣が任命する「監事」を通じた国による日本学術会議の運営に対する直接的な介入の仕組みの導入を目論んでいる。さらに、「少数の科学者だけが内輪の論理で独りよがりになってしまうのではないか」という懸念を生じさせないため」として、産業界等からの外部の委員を含む「運営助言委員会」「選考助言委員会」の設置等を求めており、法人設置の際の新会員の選出に際しても、日本学術会議の自律的な運営を保証する役割を担っている「コ・オプレーション」方式の適用を制約する方針を示して

いる。

今回の有識者懇談会報告書は、政府から独立したアカデミーとしての日本学術会議の性格を根本的に否定するものでしかない。日本科学者会議は、今回の有識者懇談会報告書とそれに基づく法人化に向けた法整備の動きを絶対に認めることはできない。今後広く市民及び科学者と連帯して、あらゆる個人・団体と共に日本学術会議法制化反対の運動を作っていく決意である。

法制化の発端となったのは新会員の任命拒否であった。それに反対の声を上げた全ての研究者、大学人、市民が、今まさに日本学術会議の独立性・自立性を守るため、再び立ち上がることが求められている。これは同時に、日本の民主主義と平和を守る行動でもある。戦争へ向かっていった歴史を思い起こし、法制化阻止の声を上げることを緊急に訴えるものである。

気候変動と海洋環境

中野 広

この報告は、2024 年 10 月 19 日に開催された日本科学者会議神奈川支部研究交流会で発表したものの概要である。

1. 「気象」「天気」と「気候」

まず、言葉の定義をする。「気象」とは、大気中で実際に起こる物理化学的な現象（風、降水、雷など）や、大気の物理化学的な状態（気温、湿度など）を指す一般的な概念で、刻々とその様相を変えながら出現する大気全体を指す。「天気」とは、ある特定の時間・場所における大気の状態や生じている現象で、その時間・その場所における気象現象である。「天候」とは、「天気」より時間スケールの長い概念として、5 日から 1 ヶ月程度の期間における平均的な天気である。「気候」とは、ある期間と場所において、最も出現頻度が高く、最も期待される平均的な気象（天気、天候）である。一言でいうと、気象（天気や天候）は、実際に大気中で発生した現象・状態であり、気候は、長期的な気象観測に基づいて統計的に求められた大気現象・状態の平均値である。

2. 地球温暖化とは、気候変動とは

（1）「地球温暖化とは、化石燃料の消費で生じる CO₂などの温室効果ガスによって地球全体の平均気温が上昇する現象」（広辞苑、第7版）である。また、「気候変動とは、地球温暖化によって地球を取り巻く対流圏の熱帯から寒帯に至る各気候帯の気温と降水量、雲などの気候要素がある時間スケールで変わることである。この気候変動は、大気と海洋との相互作用によるものであり、地球温暖化に伴う海水面温度の上昇が対流圏の大気大循環場を変えて起こる気候帯の緯度的位置の変動である。その目安となるのが子午面循環の収束帯を流れる偏西風（その軸がジェット気流）で、寒帯前線ジェット気流（温帯と亜寒帯との境を流れる）と亜熱帯ジェット気流（亜熱帯と温帯とが接する緯度帯を流れる）に分けられる。日本列島は冬になると南下した寒帯前線ジェット気流により寒気に覆われ、夏には亜熱帯ジェット気流が北上して亜熱帯大気に覆われるなど、季節によってジェット気流は北上、南下を繰り返す。地球温暖化に伴う対流圏上層部の亜熱帯高压帯の拡大は、その北側を流れる亜熱帯ジェット気流を北上させて寒帯前線ジェット気流と接近し、亜熱帯大気と亜寒帯大気とか直接触れ合い上層と下層との温度差が増し、大気擾乱が活発となり竜巻、突風、集中豪雨が頻発する」（大和田道雄、2020）。

（2）産業革命以後、観測された全球平均表面気温は1℃弱高くなった（図1）。この昇温は、人

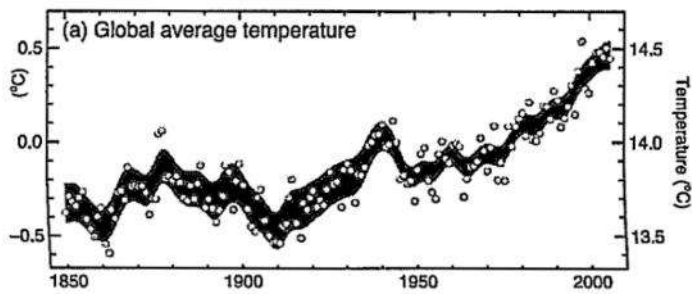


図1 観測された全球平均気温の変化。変化は1961～1990年の平均値に対するもの。なめらかな直線は10年の移動平均。○は各年の値を、シェードは不確実性の幅を示す（IPCC-AR4 図SPM1）

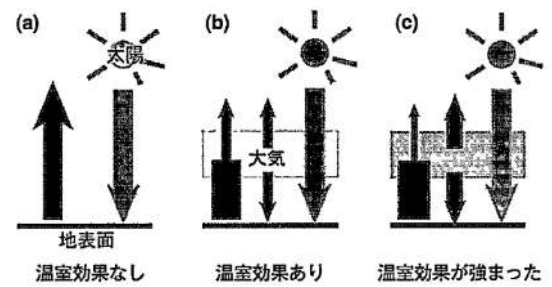


図2 大気の温室効果ガスと地球温暖化（国立環境研、2014）

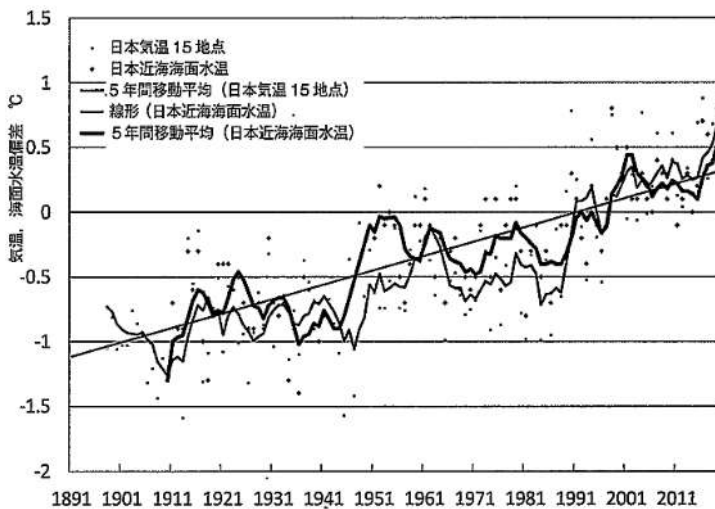


図3 日本近海における気温と水温変化。太線は水温変化（5年間の移動平均）、細線は気温変化（5年間の移動平均）（河野 仁、2020）

間活動による CO_2 濃度の上昇によるもので、数値モデルによる地球温暖化予測では、21 世紀末時点での気温上昇を平均で $0.3 \sim 4.8^\circ\text{C}$ とされている。 CO_2 の累積総排出量と世界平均の気温上昇はほぼ比例関係にあり、最終的に気温が何度上昇するかは累積総排出量の幅に関係する。気温が上昇すると、水、生態系、食料、健康などに様々な影響を及ぼす（IPCC 第4次評価報告書 2007）。

それでは、なぜ、 CO_2 、メタンや水蒸気などの大気成分の増加により、気温が上昇するのか。これらの大気成分は、地球表面から放射される赤外線を吸収

しその一部を下方に戻す性質をもち、温室効果ガスと呼ばれる（図2）。人間活動により、過去数十万年にわたる CO_2 濃度の変動幅から大きく逸脱して高いレベルにあり、なお上昇スピードを速めている。これが地球温暖化の原因である。

（3）日本近海の 2023 年までの約 100 年間にわたる平均海面水温の上昇率は、 $+1.28^\circ\text{C}/100$ 年。この上昇率は、世界全体の平均海面水温の上昇率（ $+0.61^\circ\text{C}/100$ 年）よりも大きく、日本の気温上昇率（ $+1.35^\circ\text{C}/100$ 年）と同程度である（図3）。

3. 地球温暖化による海洋への影響—地球温暖化で海洋生態系はどう変わるのか

（1）物理ポンプと化学ポンプによって、海水中には大気中の 50 倍の CO_2 が溶解込み、地球温暖化を抑えている。

①物理ポンプとは、極域や亜寒帯域などの低水温環境下で、海表面で冷やされた海水が重くなることによって、沈み込む現象である。これを鉛直混合という。また、このような鉛直混合が大規模化したのが、海のベルトコンベアと称される海洋大循環である。これは、北部北大西洋で海面から深海底に沈んだ海水がインド洋や太平洋で湧昇して再び戻ってくるまでの一周する現象のことである（図4）。鉛直混合や海洋大循環によって、大気から海水に溶けた CO_2 を表層から深層域に運び、逆に、栄養豊富な深層水が上昇し、プランクトンなどの生産が盛んになる。しかし、地球温暖

化により、極域の水温上昇と氷河の溶解による塩分低下が起こり、鉛直混合が起こりにくくなり、海洋大循環の速度低下し、深海の溶存酸素濃度が減少する。この海洋表層の生態系を構成する生物種の変更と活性化の変化が、マリンスノーの質と量を変え、深海の生物生態系にも影響が出る。

②化学ポンプとは、 CO_2 が水に溶解すると、炭酸水素イオンと炭酸イオンの型に解離し、より多く水に溶解することになる現象である。これが pH の低下につながる。

(2) 1955 年以降に気候システムが受け取った余剰の熱の 93% が海洋に吸収され蓄積された。この結果、海水温の上昇、海水面の上昇、pH が低下し、海洋生態系に大きな影響を及ぼしている。森さやか (2020) は、「海水温の上昇が原因で、海中の生物の分布の北限が、1 年間で 6 km 北へ移動している」という。

①日本の近海では、南から貧栄養な黒潮（亜熱帯海流循環水）が日本列島に沿って流れ、北からは栄養豊かな親潮（亜寒帯海流循環水）が千島列島から北海道に沿って流れる。いずれの海流もその後、房総半島から北海道沖の海域で東に方向を変える。この結果、両海流が接する海域では極前線（潮境）を形成し、湧昇流がおこる。そこではプランクトンの発生量が多く、多くの魚介類が集まり、豊かな漁場を形成する（図 5、図 6）。しかし、黒潮流路は 2017 年以降に和歌山沖での大蛇行が続き、また、本来は房総半島沖で東に変えるが、2022 年頃から三陸沖を北上し、2024 年 4 月には青森県沖に達し、その後東進しているため（図 5）、釧路沖や三陸沖の水温は非常に高い状況が続いている（図 6）。

海水温の上昇により、ア. 熱帯、亜熱帯の魚介類が北上したり、回遊経路や産卵時期・場所などが変わる。また、漁場形成の時期や場所、漁獲サイズもかわる（後述）、イ. 水温上昇で成層が発達し、鉛直混合が進まなくなり、例えば、プランクトンなどの餌料生物の発生時期と仔稚魚の発生時期のマッチ・ミスマッチが生じたり、仔魚などの栄養不足に陥ったりするなど、生物生産に大きく影響する（資源変動の主たる原因の一つ）、ウ. クラゲの大量発生と越冬、サンゴの白化と死滅、磯焼けが発生する。以上のようなことから、水温上昇は海域の生態系の変化を引き起こし、漁業に深刻な影響を与える。

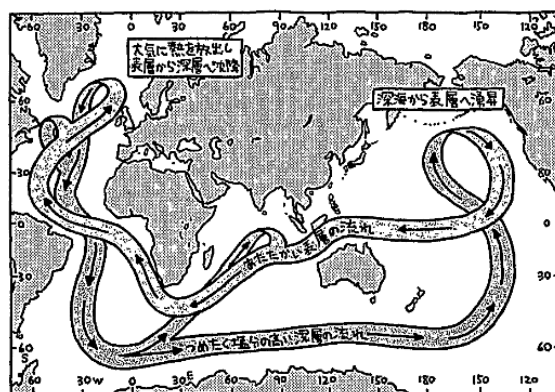


図 4 海洋大循環（実際は一本のベルトで表せるようほど単純ではない）（東大大気海洋研 2006）

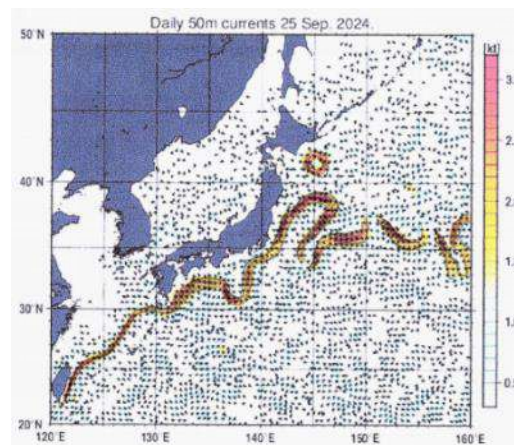
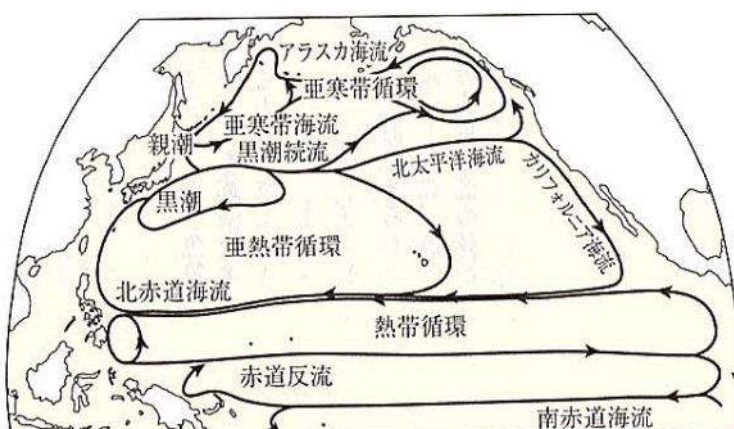


図 5 左図：北太平洋における亜寒帯循環海流（親潮など）と亜熱帯循環海流（黒潮など）（川崎健 2009） 右図：黒潮の流路（2024 年 9 月 25 日）（気象庁 HP）

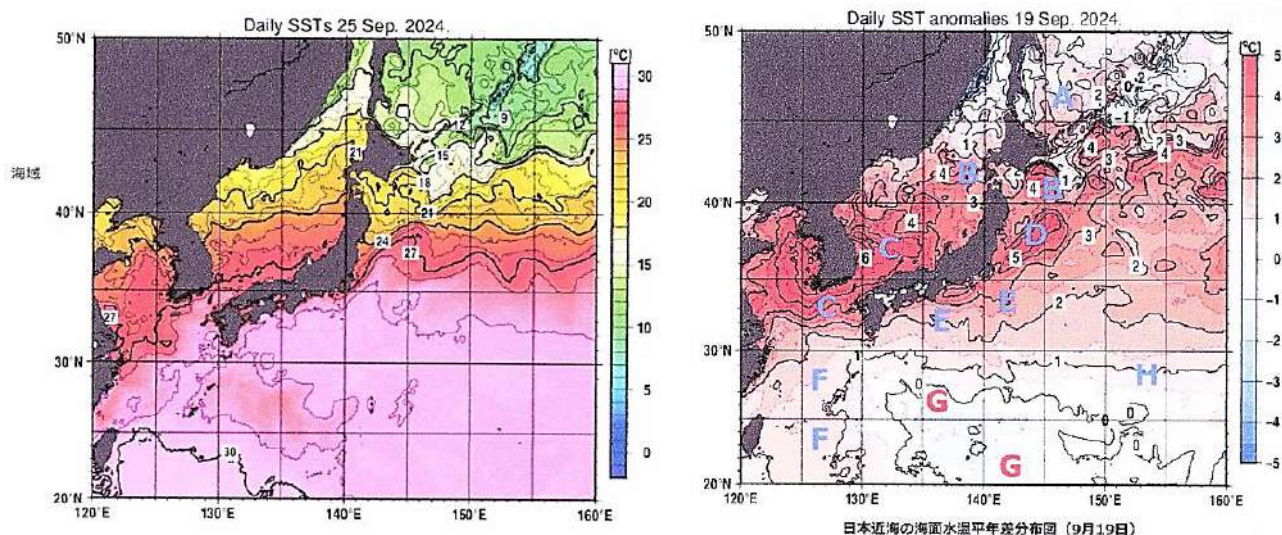


図6 左図：2024年9月25日の日本近海における表層の海面水温。右図は、この30年間の海面水温の平均値からの偏差（気象庁HP）

木村伸吾（2018）は、「クロマグロの産卵適水温は26℃であり、飼育実験にでは仔魚の成長生残が可能な水温は産卵的水温の±2℃以内である。東大などのグループが開発した気候モデルよれば、クロマグロの東シナ海での産卵場では2100年5月に水温は28℃を大きく上回り、この海域では仔魚が生き残れる水温環境になくなくなることか予想される。このモデル結果を29℃で仔魚が死亡する輸送分散モデルに組み込み、黒潮に輸送されて日本沿岸に来遊する割合を計算すると、クロマグロの仔魚が生息に適した日本沿岸に到達する割合は、2050年では現在と余り変わらないが、2100年には37%にまで落ち込む。クロマグロは、ア．日本海に産卵場の重心を移動させる、イ．産卵時期を数カ月早期化させて温暖化に対処する、ウ．黒潮本流域で産卵し素早く北上して対処することも考えられる。いずれにしてもそのような順応を生物ができるのかが問題で、できなければ温暖化による資源の減少は避けられない」という。

この他にも、温暖化は、大気中の水蒸気量を増加させ、台風の勢力拡大、降水量や降雪量の増加などにより洪水などが発生し、大量の淡水、泥水、倒木やその他のゴミなどによって沿岸の海洋環境を破壊し、生態系にも大きな影響を及ぼす。

海水温の上昇と言えば、原発などの温排水（100万kwの原発で1秒間に約70トンの取水、水温を7℃上げ排水）は、沿岸の海洋環境への影響も無視できない。今日の標準的な原発の発電量は（1機）100万kwであるが、原子炉の中では全部で300万kwもの熱が生産されており、熱の3分の2は海に捨てられ、海を温めている。日本には現在54基の原発があり、それらから流れて出る+7℃の温排水の総量は約1000億トン（日本の河川の1年の全流量は約4000億トン）」（小出裕章2011）である。鮎川ゆりか（2019）も、鹿児島県の『川内原発温排水影響調査結果報告書』（2019年1月）によると、2018年7月24日から8月10日の取水口と排水口の温度差は7℃以下に収まってはいるが、取水口の最高温度は30.4℃（8月4日）、その日の排水口温度は35℃である。温排水は排水口から広く遠くまで広がる。ただでさえ高水温をさらに高めている」という。原発などがある内湾では、大量の温排水により漁場環境が大きく変わるのである。

②気温上昇により海水面が上昇する。これは、グリーンランド、南極、高山などの氷河の融解や、熱による海水の膨張などによるもので、ア．海岸侵食、干潟などの消滅し、洪水や高潮などの自然災害が頻発する。また、島嶼諸国に深刻な影響をもたらす。イ．海水が河川上流に侵入し、農地な

表1 日本と世界の平均海面水位上昇率 (mm/年) (気象庁 HP)

	日本の16地点4海域平均 (図1)	日本の13地点平均 (図2)	世界平均 (IPCC,2021)
2004~2023年	3.7 [2.2~5.2]	3.5 [2.5~4.5]	
2006~2018年	2.9 [0.8~5.0]	3.4 [1.1~5.6]	3.7 [3.2~4.2]

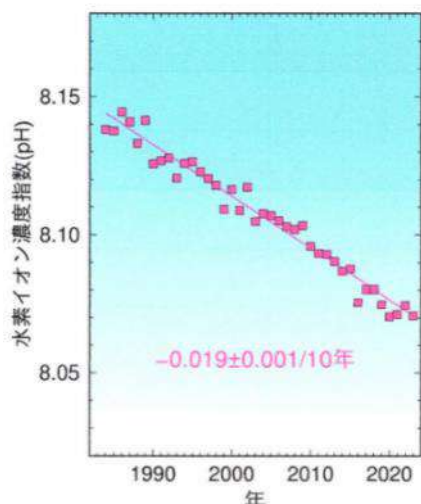


図7 東経 137 度線 (北緯 7 ~33 度) で平均した冬季の pH の経年変化 (気象庁 HP)

どに塩害をもたらす。
ウ. 護岸の崩壊、航路の埋没や潮流の変化により、生態系が変化し、漁業にも影響する。ちなみに、表1は、日本と世界

の平均海面水位上昇率 (mm/年) である。

③溶存する CO₂の増加は pH 低下、酸性化を導いている (図7)。pH が低下は、サンゴ、貝類、プランクトンなど、炭酸カルシウムの殻 (特に、アラゴナイト) を持つ生物に影響を与える。また、高水温と相まって酸素溶解度が低下し、海の貧酸素化が進む。

4. 増える魚、減る魚、そして養殖業への影響

魚介類には棲息水温、好適水温というのがある。例えば、サンマの棲息水温は 13~21℃、好適水温は 16~19℃、マイワシの棲息水温は 10~20℃、好適水温は 12~18℃などである。このように、魚介類の多くは、生理的に棲息水温、好適水温を求め、また、餌を求めて回遊する。さらに、資源量の増大にともない棲息域を広げる。以前は、黒潮によって運ばれてきた熱帯、亜熱帯の魚介類は、死滅回遊、あるいは無効分散とされていたが、

近年の日本近海の水温上昇によって、越冬や再生産が可能となり、分布域を広げている。

①近年、水面水温上昇にともなって、全国各地で獲れる魚が変わってきている。北海道では、1980 年ごろは獲れなかったブリの漁獲量が激増し、今や全国の漁獲量の 10%内外を漁獲する一大産地となっている。フグ類も北海道が全国 1 位であり、東北沿岸でも漁獲量が増加している。このほか、ウナギのシラスが北海道でとれたことも報告されている。サバ類では、主に西日本で漁獲されていたゴマサバが全国各地で漁獲されるようになった。この一方、北海道や岩手などの各道県、新潟などの日本海側でもシロサケの漁獲量は著しく減少し、ふ化放流用に必要な卵の確保も非常に厳しくなっている。

②瀬戸内海でも水温が上昇傾向で、これまで優占種であり、重要な漁獲対象であるイカナゴ、マコガレイ、イシガレイ、マアナゴ、タチウオなどの漁獲量が減少し、マダイ、ハモ、ヘダイ、クロダイ、チダイ、コウイカ類などの暖海種が増加している。一時、種苗放流もしたクロダイは魚価が低迷し、「放流の果て、貝養殖の敵に」 (中国新聞社 2012) といわれているように、海水温の上昇で、資源量が増加し、全国各地で、養殖のカキやノリ、また、アサリの食害し被害をもたらしている。さらに、暖海性の魚類であるナルトトビエイによるアサリの食害、ミズクラゲが冬季の水温上昇より越冬が可能となり、個体数が増加し漁業に深刻な影響 (漁業操業上、生態系上) を及ぼしている。

③この他、関東ではシイラ、東北ではタチウオ、ガザミ、イセエビなどの漁獲量が増加している。

④養殖業では、陸奥湾のホタテガイ、宮城県ของホヤ、広島県のカキなどに大きな影響を及ぼし宮島のカキ祭りが開催できないという。

⑤磯焼け (魚介類の産卵場や幼仔稚魚の成育場として重要な藻場が長い期間にわたり著しく衰退

もしくは消失してしまう現象)の発生と拡大がある。磯焼けは、主に、高水温、海水中の栄養塩不足などで発生し、ウニ類や食植性魚類(アイゴ、ブダイ、イスズミ類、ニザダイなど)による食害によって持続し、全国的に大問題となっている。ウニ類は飢餓耐性が高く、衰退した藻場に追い打ちをかける。暖海性のガンガゼ類の増加、暖海性の魚であるアイゴは、群れをなして海藻を摂餌し、その影響は大きい。秋～冬季の水温上昇のため、食植性魚類の活動が長期化・活発化しているのである。

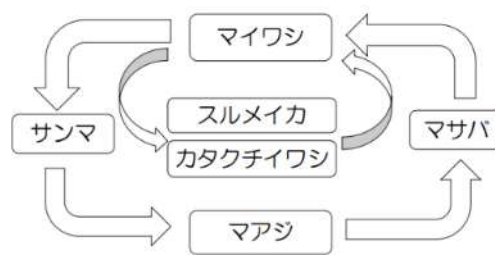


図8 日本周辺海域における多獲性浮魚類の魚種交代(川崎 健 2003)

(2) 日本近海の海面水温では10年規模の変動が見られる(図3)。このような水温などの海洋環境の変動に対応し、多くの魚介類の漁獲量が増えたり、減ったりする。このような現象をレジーム・シフトという(川崎 健 2009)。その代表例は、マイワシで、1940年代や1980年代の水温が極小の時、資源量が爆発的に増加した。ちなみに1980年代には漁獲量は約450万トンであったが、2010年頃には数万トンまで減少した。このマイワシの漁獲量の増減は、世界のいろいろな海域で同調的に起こっている。また、レジーム・シフトによって、多獲性浮魚の魚種交代(図8)(川崎 健 2003)や底魚の漁獲量の変動などが説明されてきた(二平 章ら 2013)。ローカル資源でも、船越茂雄(2008)は、伊勢湾の小型底びき網漁業(まめ板漁業)の愛知県豊浜市場の漁獲統計を使い、1973年～2006年の34年間の漁獲量と漁獲物の変遷を調べた結果、「80年代から90年代にかけては、いくつかの種類がまとまって増減し、卓越種の交代が見られたことから、沿岸域や内湾域においてもレジーム・シフト現象が起こっている可能性が示唆された」と書いた。このように、従来から、レジームシフトによって増える魚もあれば、減る魚もあった。大胆に言えば、現在はマイワシは増える魚であり、サンマ、スルメイカなどは減る魚である。ちなみに、「科学的な資源管理」の成功例として喧伝されているクロマグロは、資源管理の結果ではなくレジーム・シフトによる増加であろう。成功例としてクロマグロを取り上げるならば、同じように「科学的な資源管理」をしているとされるサンマやスルメイカが、なぜ減少したのか説明をすべきである。

このレジーム・シフトによる漁獲量の変動の原因は、太平洋西部では、アリューシャン低気圧が弱まると深層からの栄養塩類の供給が少なくなり低次生物生産が低くなること、また、親潮の南下が弱まることによって暖かい黒潮との混合が弱まり、よりよい成育環境が形成されなくなることであり、この他にも、エル・ニーニョ、ラ・ニーニャ、黒潮の蛇行などが関連しているといわれている。

5. おわりに

レジームシフトにより、水温などの変化が海洋生態系に大きな影響を与え、魚種交代などの資源変動に大きく関わっていることが明らかになっている。一方、伊勢湾のイカナゴ、駿河湾のサクラエビ、秋田のハタハタ、東京湾や伊勢湾のアナゴやシャコなどの資源管理されている魚介類も、漁獲量が激減しているか、皆無であるものも多い。「カレイ類などは、漁獲圧が低下していても漁獲量は増加しない」(片山知史 2012)。この原因は、(レジーム・シフトなどの)水温の変化、河川からの栄養塩の供給量の減少、藻場や干潟の減少などの漁場環境の変化によるものである。水産庁のいう「科学的な資源管理」手法である「MSY理論」は、親の数が多ければ子どもの数も多く残り、資源量が維持されるという、単一魚種の資源管理理論で、環境変動を誤差とするものである。そこには、大量の卵を産み、僅かに生き残るという魚介類の特性が無視されているなど、その有効性が

まともな資源学者からは疑問視されているのである。

近年、日本の近海では水温上昇が極めて異常で、各海域で捕れる魚介類の種類の変化から、温暖化の影響が顕在化しているが、エル・ニーニョ、ラ・ニーニャ、黒潮の蛇行の影響、あるいは（これらが関連する）レジーム・シフトによっても数年～数十年スケールでも海洋環境は周期的に変化しており、両者を区分することは難しい。また、今後、このままで水温上昇すればレジーム・シフトの影響が打ち消される可能性もある。

自然現象には多くの不確実性や未知性がある。魚介類の生態も不明なものが大半であり、まして生態系はより不明であるとともに、日々変動している。このため、地球温暖化による環境変動や漁業資源への影響を正確に掴むには、海洋環境のモニタリング調査、漁獲によらない資源調査、漁獲量データーのきちんとした統計の整備などの地道なデーターの積み重ね、また、魚介類の生態調査などが、地球温暖化対策と共に、極めて重要となっている。しかし、海洋のモニタリング調査の危機的状況、漁獲統計の簡略化、あるいは、魚介類などの地道な研究費の削減など、これとは真逆の状況となっている。この状況をなんとか打破することが必要となっているのである。

引用及び参考文献

- 鮎川ゆりか（2019）：原発は温暖化する地球の「時限爆弾」である、世界、(922)、150～159
大和田道雄（2020）：地球温暖化に伴う気候変動と地球気象への影響、科学、90（10）、866～868
片山知史（2012）：伊勢・三河湾におけるかれい類の資源動向、日本沿岸域における漁業資源の動向と漁業管理体制の実態調査—平成 23 年度事業報告、103～107、東京水産振興会
川崎 健（2003）：地球システム変動の構成部分としての海洋生態系のレジームシフト、海洋、(393)、196～205
川崎 健（2009）：イワシと気候変動、岩波書店
河野 仁（2020）：日本の異常気象と気候変動、日本の科学者、55（9）、11～18
北里 洋（2012）：日本の海はなぜ豊かなのか、岩波書店
木村伸吾（2018）：ウナギとマグロとイワシ：黒潮がつくりだす環境、科学、88（6）、572～576
小出裕章（2011）：原発のウソ、扶桑社
気象庁ホームページ
（独）国立環境研究所 地球環境研究センター編著（2014）：地球温暖化の事典、丸善出版
中国新聞社編（2012）：命のゆりかご—瀬戸内海の多様な生態系、中国新聞社
東京大学海洋研究所 DOBIS 編集委員会編（2006）：海の環境 100 の危機、東京書籍
二平 章（2013）：日本周辺における沿岸漁業資源の動向と管理方策、日本沿岸域における漁業資源の動向と漁業管理体制の実態調査—平成 24 年度事業報告、東京水産振興会
船越茂雄（2008）：伊勢湾の小型底びき網漁業における漁獲物の変遷、愛知水試研究報告、(14)
森さやか（2020）：いま、この惑星で起きていること、世界、(935)、126～129

神奈川国民運動実行委員会が国会議員要請統一行動を実施

後藤仁敏

2025 年 2 月 19 日、「軍事費を削って暮らし、福祉・教育の充実を一国民大運動神奈川県実行委員会」が国会議員要請統一行動を実施し、14 団体から 100 人が集まりました。私もノースドック米軍部隊配備反対連絡会として集めた請願署名を提出するために参加しました。

衆議院第一議員会館多目的ホールに集合、神商連の下谷清人副会長が司会を務め、新婦人県本部の田中由美子会長が主催者挨拶、次いで、6 団体から発言があり、運動が交流されました。

原水爆禁止神奈川県協議会からは核禁条約への署名・批准を求める署名について、新婦人からは選択的夫婦別姓や給食費値上げ反対について、ノースドック反対連絡会の飛田久男事務局長からは署名を約 9000 筆集めたとの発言があり、民医連、建設労連、年金者組合からも報告がありました。

日本共産党の小池晃参議院議員（図 1）から、国会情勢報告がありました。政府・自民党は安倍派会計責任者の参考人聴取で、非公開で出席者を限定するなどあくまでも裏金問題の解明に応じないで幕引きを図ろうとしていると糾弾しました。

来年度予算案の審議では、国民党は 103 万円の壁、維新は高校無償化で取引し、賛成しようとしている。立民党も修正案を出しているが、財源を確保するために大軍拡にメスを入れることが重要だ。

石破首相は、2027 年以降も大軍拡を進めるとトランプ大統領に約束しており、このままでは日本はアメリカの ATM になってしまう。今こそ、共産党が頑張る時で、皆さんの願いに応じて希望のもてる政治に変えたい」と闘う決意を表明しました。小池議員にはノースドック反対署名など、多くの署名が手渡されました（図 2）。次いで、住谷和典県大運動事務局長が議員要請について行動提起し、最後に建設労連の小森邦男社保対部長が閉会挨拶しました。

その後、各団体ごとに国会議員への要請行動を行いました。私たちノースドック反対連絡会は 9 人が 3 人ずつ 3 に分かれ、衆議院の第一と第二議員会館、参議院議員会館を回り、県選出の議員に請願署名の紹介議員になっていただきたいと要請しました。



図 1 小池晃参議院議員の国会報告



図 2 飛田氏から小池議員に署名提出

横浜教科書採択連絡会が学習会「どうなってる？今の授業と教科書」を開催

後藤仁敏

2025 年 2 月 22 日、横浜教科書採択連絡会が教科書を考える学習会「どうなってる？今の授業と教科書」をかながわ県民センター会議室で開催し、会場あふれる参加者が集まりました。

最初に、連絡会の佐藤満喜子さんが、昨年度中学校教科書採択の結果について報告しました。令和書籍の『国史教科書』が文科省の検定に合格したが、極めて保守的な内容で膨大な量が詰め込まれており、中学校の発達段階を無視した編集だが、岡山の私立一校が採択している。学問的根拠を必要としない政府見解通りの記述を強いる「検定基準」により、それ以外を書き添えることがしにくい状況がある。

育鵬社の採択が継続採択の 4 地区、県立 5 校に減少した。常陸大宮市が自由社の歴史・公民を新規採択した。横浜市の採択では、前回まであった育鵬社への票がなくなり、歴史・公民とも帝国書院が満票で採択された。今後、採択区の区ごとの分割、無記名投票の廃止、広い傍聴会場を求める運動を続けたい。

続いて、横浜国立大学教育学部教授の金馬国晴さんが「どうなってる？今の授業と教科書」について次のように講演しました。

神奈川県内の子どもと教育の現状では、虐待・いじめ・長期欠席・不登校の増加が顕著だ。いじめ・暴力行為は小学校で急増している。小人数学級については、小学校でわずかに前進しているが、

中学校では 31 人以上が 92.3%もある。外国籍の児童・生徒は増加している。なのに、神奈川では公的支出は、子ども一人当たりで幼稚園・小学校・中学校で全国 46 位で、私学が目立ち、格差が激しくなっている。

テストを乗り切れば忘れてもいいという「テスト収斂システム」から脱するべきだ。すべての問いが与えられ、自ら生み出さない「正解主義」が最大の問題で、どんな子に育てたいか(子ども像)、どんな社会を見通すか(社会像と人間像)、そのためにどんな教育に変えていくか(教育像)が大切だ。テストのためでなく、実生活に活用するため、つまり学校のためではなく生きるため、就職や労働のために留まらず、幸せになるために学ぶのだ。

教科書は学ぶ対象ではなく、学ぶための道具でしかない。対象はホンモノ、モノ、人、ことである。他の教材、現物、人、文献も組み合わせ、総合することが重要だ。

ニューメディアとして、スマホ、タブレット、パソコンなども道具である。これらを使用した DX(デジタルトランスフォーメーション)も進められている。しかし、日本ではゲームにばかり使われ、検索にはあまり使われていない。デジタル・シティズンズシップを育てることも必要だ。ただし、年少者には、依存やいじめ、脳や目への悪影響を考慮しなければならない。

途中で二度ほど、グループ討議の時間ももたれた。子どもたちを心配する質問にも回答があった。学校現場での先生や子どもたちの状況を考える、貴重な学習会であった。

明るい県政をつくる会が総会と県予算案の学習会を開催

後藤仁敏

2025 年 2 月 25 日、平和で明るい神奈川県政をつくる会が総会と県予算案の学習会を建設プラザで開催しました。総会では、山田浩文事務局長からの報告にもとづいて、神戸大学の室崎益輝教授による防災・被災者支援の学習会、農業問題や再生可能エネルギーについての学習会、農業の実情を見る県政ウオッチなどの活動、県政の課題についての動向、今年度の運動方針案などが議論されました。最後に代表委員の私が「2 年後の県知事選に向けてさらに取り組みを進めよう」との閉会挨拶をしました。なお、JSA 神奈川支部はこの会の代表委員選出団体となりました。

続いて、県民連絡会の神田敏史さんが「2025 年度神奈川県予算案で県民要求はどう実現したか」について、次のように講演しました。

これまで、県知事や当局は「厳しい財政状況」を理由に県民の切実な要求を拒否してきたが、税収が過去最高になり、臨時財政対策債がゼロになったように、良好な財政運営になっており、県民要求に応えることが可能になっている。

私立高校の授業料無償化の対象が、世帯収入 700 万円未満から 750 万円未満拡充されたことや、社会的支援が必要な子ども・若者・家庭への支援の拡充、住宅の耐震化の推進、県立病院への負担金の 10 億円の増加、特別支援学校の新設や看護師の増員、高校体育館の空調化、県立保健福祉大学の入学金の半額化、給付型奨学金制度の実施など、運動による要求の前進もみられる。

一方で、国際園芸博への予算措置など、問題が多い項目もあり、県知事の失敗である「マイ ME-BY0 カルテ」や「マグカル開放区」の見直しの検証もない。



図 1 講演する神田敏史さん



図 2 報告する井坂しんや県議

その後、井坂しんや県議が共産党県議団の予算案への対応について報告しました（図2）。

県は財源不足を強調しているが、実際には過去2番目の規模の予算案を可能にしており、県の財政力指数は東京、愛知に次ぐ全国3位で、今後の予算委員会で県民要求の実現を追求したい。自ら体験した高校体育館の空調の必要性については、他会派からも声があがった。1年に3校では遅いので、さらに増やしたい。昨年9月時点で県内の教員未配置は500人で、教員不足解消のため正規雇用の教員を増やし、小人数学級の推進にも取り組みたい。

県の病院数、医師数、看護師数、保険師数などは全国最低基準で、保険医療予算の増額が必要だ。2027 国際園芸博の入場者数1000万人は過大な見積もりで、規模の縮小、見直しが必要だ。2月12日から始まった予算議会で、切実な県民要望の実現のため、全力を挙げる決意だ。

県財政の実態と共産党県議団の活動について学ぶ上で、重要な学習会となりました。

行事案内

- ☆3月13日（木）15:30～17:30 **STOP 日本学術会議「法人化」署名提出記者会見・院内集会** 会場：参議院議員会館地下1階B107会議室（一般参加者先着30名） 記者会見：登壇者 広渡清吾、榎木英介、本田由紀、駒込武、赤井純治 集会：国会議員あいさつ、参加団体あいさつ、意見交換など 主催：日本学術会議の「特殊法人化」に反対する Chang.org 署名団体
- ☆3月14日（金）12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR 東神奈川駅東口デッキ 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会（045-231-0103）
- ☆3月15日（土）9:30～12:00 **かながわ市民連絡会全体会** 形式：Zoom 会議 担当：司会：17区、書記：12区 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360（内藤繁）
- ☆3月15日（土）13:00～ **2025 原発のない福島を！県民大集会** 会場：パルセいいざか（福島市飯坂町、024-542-2121）被災地フィールドワーク 3月16日（日）8:00～16:00 飯館村長泥地区と伝承館などを視察 事前申込み先：03-5289-8224（原水禁） 主催：実行委員会（024-522-6101）
- ☆3月15日（土）14:00～16:00 **学習会「リニアとわたしたちの暮らし」** 会場：橋本公民館大会議室（JR 橋本駅徒歩3分）と zoom リニア新幹線開発とは？ そのメリットとデメリット。市民や他地域の声。次世代のために。参加費300円 主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会 問合せ：070-2617-4105（田淵さん）
- ☆3月15日（土）14:30～15:30 **フェミブリッジかながわ（略称フェミかな）** 場所：JR 桜木町駅前広場 スローガン「女性の声が生きる政治に！」 お願いなど：ミモザカラー（黄色）をなにか1つ身につけてご参加ください。女性が主役ですが、男性のサポートも大歓迎です。SNS やロコミで拡散をよろしくお願いします。問合せ先：実行委員 岸牧子（090-1051-1812）、実行委員 渡邊亜里子（080-3025-2420）
- ☆3月16日（日）10:00～16:00 **第68回神奈川県母親大会 in 平塚** 会場：ひらしん平塚文化芸術ホール（平塚駅西口徒歩8分） 資料代1000円（大学生500円、小中高生無料、障害者500円、介護者無料、全体会のみオンライン視聴1000円、映画協力券500円） 午前の部（分科会）分科会①（大ホール、定員500人）映画上映「教育と愛国」 分科会②（大練習室、定員38人）「いま、憲法9条を生かすとき」助言者：渡辺賢二（明治大学平和教育登戸研究所資料館展示専門委員）、分科会③（大会議室 AB、定員40人）「介護保険制度を知ろう～ケアする人も、される人も、安心できる制度を」助言者：根本隆（神奈川県社会保障推進協議会事務局長）、分科会④（多目的ホール、定員200人）「安心・安全を子どもたちの未来に～ここまできた環境汚染（放射能、PEAS など）、健康被害」助言者：牛山元美（中央医療生協さがみ生協眼窩・内科内科部長）、分科会⑤（見学と学習分科会、定員20人、要事前申込み）「平塚の戦争遺跡を歩く」案内・助言者：岩田新一（元高校教諭） 集合9時に平塚駅被害改札を出て北口階段下、徒歩で移動 午後の部（全体会、オンライン併用）文化行事 出演：カテリーナ・グシー バンドゥーラ演奏、記念講演：鈴木宣弘（東京大学特任教授）「世界で最初に飢えるのは日本？～安全な食と、それを支える日本の農業」、運動の交流、アピール・スローガン採択など 主催：実行委員会 問合せ・申込み：045-641-8815、kanahara(at)hoiku-hahaoya.com
- ☆3月16日（日）①10:30～、②14:00～ **ドキュメンタリー映画「地球で最も安全な場所を探して」上映会** 会場：茅ヶ崎勤労市民会館（茅ヶ崎市新栄町） 参加料1000円（前売り900円） 主催：チームみつばち 問合せ：urufuriku(at)gmail.com、090-9328-3799（亀田さん）
- ☆3月16日（日）13:00～17日（月）12:00 **泊まり込み平和セミナー** 会場：相模原清流の里 参加費一泊2食12,000円（別途・飲み物代） 青年（40歳未満）6000円、食事なし2000円 主催：神奈川県平和委員会 問合せ：045-231-0103
- ☆3月16日（日）13:00～ **日本と中国 平和と友好は音楽から 日中友好音楽のつどい** 会場：横浜健康福祉総合センター4階ホール（桜木町駅徒歩2分） 入場料3000円、前売り券2500円（会員割引あり） 中国古箏・歌（謝雪梅さん）、京劇（張桂琴さん）、舞踊、笛子、三味線・唄（杉田弥生さん） 問合せ・申込み：日本中国友好協会神奈川県連合事務所 問合せ：045-663-0041 主催：日中友好協会神奈川県連合会
- ☆3月16日（日）14:00～15:00 **月イチ街頭宣伝アクション マイナ保険証を強制するな！マイナンバーカードなんていない！** 場所：東京・JR 中央線立川駅北口デッキ 主催：共通番号いらないネット 問合せ：080-5052-0270（宮崎）
- ☆3月17日（月）13:30～15:30 **“歌って元気” ひるまのうたごえ喫茶** 会場：クラジャ（カフェ）（小田急線藤沢本町駅徒歩7分） 会費1000円（飲み物、お菓子付） 主催：藤沢合唱団 問合せ：070-1315-3501（新井さん）
- ☆3月17日（月）18:30～21:00 **共に求めよう 市民による市民のための山下ふ頭を** 集い会場：横浜市開港記念会館1号室 さまざまな市民団体からの発言 応援メッセージ発言 幸田雅治（神奈川大学法学部教授、山下ふ頭再開発検討委員会委員）、塚田順一（緑区霧が丘連合自治会会長）ほか 参加費500円 学生無料 主催：市民による市民の

ための山下ふ頭を求める会(準備会) 事前申込み・問合せ : shiminniyoru.shiminnotameno@gmail.com 090-8647-4942(担当 中村)

- ☆3月19日(水) 17:00～ **日本学術会議法人化への懸念 立憲フォーラム・戦争させない1000人委員会共催 3.19院内集会** 会場:衆議院第2議員会館多目的室 講師:梶田隆章さん(日本学術会議第25期会長、東京大学卓越教授、特別荣誉教授、2015年ノーベル平和賞受賞) 無料 どなたでも参加できます。院内集会後の議員会館前行動にもご参加ください。
- ☆3月19日(水) 17:00～(通行証渡し開始は16:45) **大軍拡反対請願署名 推進のつどい** 会場:参議院議員会館講堂 主催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆3月19日(水) 18:30～ **憲法いかせ!軍拡反対!選択の夫婦別姓実現 TheEND 自民党政治 3・19 国会議員会館前行動** 場所:衆議院第2議員会館前を中心に(国会図書館方面も御利用下さい) 共催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆3月22日(土) 9:30～12:00 **憲法会議結成 60年記念講演会** 会場:日本教育会館 901・902号室(地下鉄神保町駅出口A1) 資料代1000円、学生500円 記念講演:渡辺治氏(一橋大学名誉教授)「憲法会議の60年と、新たな情勢のもとでの改憲阻止のたたかい」 YouTubeで配信します。申込み先:mail(at)kenpoukaigi.gr.jp 主催:憲法改悪阻止各界連絡会議(憲法会議)(03-3261-9007) 協賛:神奈川憲法会議、埼玉憲法会議、千葉県憲法会議、東京憲法会議
- ☆3月22日(土) 10:00～12:00 **安保法制から10年 神奈川の米軍基地強化とその役割** 会場:アミューあつぎルーム610(小田急線本厚木駅徒歩5分) 講師:菅沼幹夫(県平和委員会基地対策部長) 主催:厚木愛川平和委員会など 問合せ:090-8858-1241(川瀬さん)
- ☆3月22日(土) 10:30～ **学習会「学校のリアル」** 会場:磯子区社会教育コーナー(JR 磯子駅徒歩4分) 講演:古谷靖彦(共産党市議団長) 主催:磯子区革新懇 問合せ:045-754-2363
- ☆3月22日(土) 14:00～ **映画「〇月〇日区長になる女」上映会** 会場:相模大野ユニコムプラザ 前売り900円(当日990円) 定員100にて締切 主催:神奈川20区共同市民の会 連絡先:岡田(090-6957-6539)
- ☆3月23日(日) 12:00～ **原発ゼロへのカウントダウン in かわさき第14回集会&デモ** 場所:中原平和公園 主な集会発言:「エネルギーの選択肢として原発がだめなこれだけの理由」FoE Japan 満田夏花さん 「能登半島地震と珠洲原発阻止のたたかい」能登から参加 北野進さん
- ☆3月23日(日) 13:50～15:30 **中国近現代史講座 第9回「“改革・開放”を現地で体験して」** 会場:戸塚地区センター2階B会議室 会費500円(資料代) 講師:岡崎雄児さん 主催:日本中国友好協会横浜西南支部 問合せ:大幡(080-2981-3935)
- ☆3月23日(日) 14:00～16:00 **講演会「イマジン 一人一人が輝ける社会～コストリカに学ぶ」** 会場:湯河原防災コミュニティセンター(JR 湯河原駅徒歩16分) 講師:伊藤千尋(国際ジャーナリスト) チケット1000円(前売のみ、高校生以下無料) 主催:真鶴女性九条の会 問合せ:0465-64-1277(小島さん)
- ☆3月24日(月) 15:00～18:00 **ZOOM セミナー:脳オルガノイドとBMI** 講師:高橋淳さん(京都大学 iPS 細胞研究所所長)「脳オルガノイドとは」、新川拓哉さん(神戸大学大学院人文学研究科)「人工的存在者の意識と倫理」、澤井努さん(広島大学 大学院人間社会科学研究科 特定教授)「脳オルガノイド研究の倫理」 コメンテーター:四ノ宮成祥さん(国立感染症研究所客員研究員)、天笠啓祐さん(市民バイオテクノロジー情報室代表) ディスカッション 司会:島菌進さん(東京大学名誉教授) 会場との質疑応答 参加費 ZOOM代1000円 Zoomの方の事前申込み:Zoom 参加希望者は下記必要事項明記の上 3月22日まで申込みください。申込み時の必要事項は名前、職業、電話番号、メールアドレス 申込み先: E-mail:jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから→https://forms.gle/QZrcZNcMupjQNKH9 Zoom参加の方は事前に下記へ振込みください。郵便局からの送金の場合 口座番号 10290-70860881 他行からの送金の場合 ゆうちょ銀行 028 店(ゼロニハチ) 普通 7086088 口座名義 神野玲子 当日の詳細案内: ZOOM「参加申込みされた方には3月22日ごろに ZOOM の URL 等を案内します。主催:ゲノム問題検討会議 https://www.gnomeke06.net/ 問合せ:090-2669-0413 神野玲子
- ☆3月27日(木) 18:00～ **憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を! #総がかり署名街宣** 場所:新宿駅東南口 共催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆3月28日(金) 18:00～ **憲法9条改憲NO!ウィメンズアクション** 場所:JR有楽町駅イトシア前 主催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team
- ☆3月28日(金)～4月3日(木) 毎日10:00～18:00 **福島原発事故14年展～この国の姿を問う～** 会場:かながわ県民活動サポートセンター1F 展示場(横浜駅西口徒歩5分) 展示・集会は、次の3つのテーマで考えます。1. かながわ訴訟 11年の歩み～何が見えてきたのか、2. 危機の時代に浮かび上がるこの国の姿～何が問われているのか、3. 豊田直巳写真展～消される風景、消えない放射能 期間中は様々なイベントも企画しています。
- ☆3月28日(金) 13:30～16:30 **新かながわ俳句愛好者の集い** 会場:かながわ県民センター1502会議室(横浜駅西口徒歩5分) 講師:望月たけしさん(新俳句人連盟副会長) 参加申込み:自作の俳句を1句か2句を添えて新かながわ(電話045-334-7867、info(at)shinkana.jp)に3月15日までに申し込みください。新人歓迎です。
- ☆3月28日(金) 19:00～20:45 **ガザで暮らす家族をもつ人々のドキュメンタリー映画『Not Just Your Picture キーニー 一家の物語』上映会&アフタートーク**(会場・オンライン) 会場:座・高円寺2地下2階(中央線高円寺駅北口徒歩5分)・オンライン(Youtube 限定配信) 定員:座・高円寺200名(先着順・当日自由席)・オンライン:なし プログラム 第1部映画上映 日本語字幕付き(約60分) 第2部:アフタートーク 登壇者:安田菜津紀、坂本美雨(約30分) 参加費・座・高円寺:一般2000円、学生1,000円、オンライン:一般1000円、学生500円 いずれも一般のみ、認定NPO法人 Dialogue for Peopleへの寄付つきチケットあり。(いただいたご寄付は、パレスチナをはじめとした Dialogue for People の取材発信活動に役立させていただきます) 申込締切日 3月28日(金) 19:00 会場参加は定員になり次第、締切予定 主催:認定NPO法人 Dialogue for People 協力:株式会社 LIFE.14(配信) 映画:©2020 Not Just Your Picture 日本語字幕制作:認定NPO法人 Dialogue for People 日本語字幕協力:高橋美香、瀧元深祈、塩見春乃、赤城みう アフタートーク登壇者:安田菜津紀(認定NPO法人 Dialogue for People、

フォトジャーナリスト)、坂本美雨(歌手) 問合せ:認定NPO法人Dialogue for People事務局(担当:西田) メールアドレス:event@d4p.world 主催:DialogueforPeople

☆3月29日(土)10:00~ 登戸研究所見学と交流会(お花見) 雨天決行 10時、小田急線生田駅南口集合 10時30分~11時30分 登戸研究所見学 解説:大図健吾さん(登戸研究所保存の会共同代表) 見学後、電車で移動し、川崎市緑化センターでお花見交流会(会費1000円) 雨天の場合は、登戸の中華店で交流 申込み:神奈川県平和委員会へ Fax.045-261-6577、info(at)k-peace.org 主催:神奈川県平和委員会・青年部

☆3月29日(土)14:00~16:30 自民党政治を終わらせる 東京都議選・参議院選挙勝利 3.29 東京の大学人・研究者のつどい 会場:日本共産党東京都委員会大会議室(大塚駅北口徒歩5分) 講演:和泉なおみ(日本共産党都議団幹事長)「野党第一党の日本共産党都議団の果たしている役割」 つどい終了後、東京学研会総会 オンライン(zoom)参加希望者は、tokyogakukken(at)gmail.comに申し込みを 共催:東京の大学人・研究者日本共産党後援会、都内各大学教職員後援会

☆3月30日(日)14:00~16:00 あの熱い夏から10年 2025年選挙の年にエネルギーを補給しませんか 講師:宮古あずささん(看護師) 会場:カルッツ川崎大会議室 資料代500円 主催:なんてん~神奈川10区の会 問合せ:090-1708-6635(五十嵐)

☆3月30日(日)14:00~ 米兵犯罪被害者キャサリン・ジェーン・フィッシャー23年間の闘い~全国の被害者たちのために、私たちの未来を変えよう 会場:文京シビックセンター4階シルバーホール(地下鉄後楽園駅徒歩3分、春日駅徒歩4分) 資料代500円 講演:キャサリン・ジェーン・フィッシャーさん 主催:沖縄戦の史実歪曲を許さず沖縄の真実を広める首都圏の会 共催:沖縄平和ネットワーク首都圏の会 問合せ:03-3264-2905(首都圏の会)

☆4月4日(金)~6日(日) 4月沖縄行動(辺野古・普天間・うるま) 主催:全国革新懇、安保破棄中央実行委員会 行動内容(状況によっては変更することがあります) 1日目:4月4日(金)那覇空港13:30集合=普天間飛行場・嘉手納飛行場=沖縄市内ホテル 2日目:4月5日(土)ホテル出発9:00→辺野古・県民大行動→平和丸にて海上行動→宮城島(土砂採石場)→平敷屋公園(ホワイトビーチ)→那覇市内ホテル 3日目:4月6日(日)午前中 学習会「米兵犯罪・日米地位協定改定問題」と「名護市長選・県知事選に向けて」=解散 羽田空港組は那覇空港15:30那覇空港 【利用予定ホテル】シングルルーム利用 朝食付き 1日目 沖縄市内ホテルニューセンチュリー 2日目 那覇市内スマイルホテル沖縄那覇.参加申込み:参加を希望される方は別紙申し込み用紙で安保破棄中央実行委員会に申し込んでください。申し込み締め切りは2025年3月12日(水)とします。但し、航空券、ホテルに定員がありますので、定員(20人)に達し次第締め切ります。②羽田発の方は航空券の関係上、出発から解散まで同一行動とします。途中離団などはできませんのでご了承ください。羽田→那覇→羽田 航空便+宿泊2泊(シングル利用)は団体での予約となります。羽田発 予約該当便は以下の通りです。(時間はいずれも予定です)【往路】ANA469便 10:30発/13:00着 【復路】スカイマーク520便 16:45発/19:00着 参加費用:(費用は出発前に安保破棄中央実行委員会に振り込んでください) 羽田空港発の方 航空便(羽田/那覇/羽田)+宿泊費2泊(シングル利用)+バス代+諸経費 1人71,000円程度となります。(確定後お知らせします) 羽田空港以外から参加の方(那覇空港13:00までに到着する航空券をご自身で予約お願いします) 宿泊費2泊分(シングル利用)+バス代+諸経費で1人 30,000円程度となります(確定後お知らせします) 費用は出発前に申込書下部に記載の安保破棄中央実行委員会の口座に振り込みをお願いします。

☆4月5日(土)13:30~ 韓国戒厳令問題学習会 会場:横浜市開港記念会館2階6号会議室(みなとみらい線日本大通り駅徒歩2分) 講演:栗原千鶴さん(赤旗記者)「韓国はどうなっているのか~戒厳令を止めた戦いと今」 報告:韓国・光州ツアーに参加して 青年の発言など予定しています。主催:神奈川県平和委員会、日本コリア協会神奈川支部、日中友好協会県連、神奈川革新懇 資料代 500円(学生及び障がい者200円) 問合せ:045-231-0103

☆4月6日(日)14:00~16:00 第34回沖縄ジャンプナイト・オンライン 朝日新聞から琉球新報へ ゲスト:南 彰さん(琉球新報編集委員) 参加費無料 参加方法:名前を添えて次に申し込みください。前日までにurlを送ります。申込み先:j_night-contact(at)protonmail.com 主催:日本ジャーナリスト会議(03-6272-9781、office(at)jcj.gr.jp)

☆4月7日(月)18:30~ 高校生が自衛隊勧誘を違憲と告訴。奈良地裁での審議は? 会場:鶴見公会堂1号室・2号室(鶴見西口直結) 講師:岡田 尚(弁護士) 資料代300円 主催:鶴見平和フェスティバル実行委員会 申込先:鶴見区革新懇事務局・金谷(Fax.045-573-8065、kanakazuo@yahoo.co.jp)

☆4月11日(金)12:30~13:30 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動 場所:JR桜木町駅前広場 呼びかけ:横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)

☆4月12日(土)16:00~ 学習会 公権力とジャーナリズムの関係 横浜市のメディアへの介入を考える 会場:かながわ県民センター304会議室(横浜駅西口徒歩5分) 資料代500円 お話:岩崎貞明さん(メディア総合研究所事務局長、専修大学文学部客員教授) 主催:公権力とメディアの関係を考える会 問合せ:090-7405-4276(竹岡)

☆4月20日(日)13:30~16:45 市民が創る横浜市政のつどい ①市民本位の市政運営と市民活動の在り方の学習、②山中市政・議会の状況や2025年度市予算の特徴について、③参加団体・参加者の発言など、④2025年度市長選挙政策の提案 会場:横浜市健康福祉センター階ホール(参加予定250人、桜木町駅徒歩3分) 資料代500円(予定) 講演:榊原秀訓(南山大学教授・自治体研究所会員)「地方自治の未来(仮題)」 主催:市民の市長をつくる会 問合せ:電話・FAX 045-650-1896 メール mail@y-simin.jp

☆4月20日(日)14:00~ あつぎ・九条の会19周年「音楽と講演の集い」平和のバトンを若い世代へ「アート・ことば・そして日本が誇るべき平和力」志田陽子さん講演会 講師:志田陽子さん(武蔵野美術大学教授、憲法学) オカリナとピアノの調べ(オカリナ:竹林康子、ピアノ:田巻真理) 会場:厚木市文化会館小ホール(本厚木駅南口徒歩13分) 参加費:一般500円、学生300円、高校生以下無料、当日券700円 チケット取り扱い:厚木市文化会館チケット予約センター(046-224-9999) 主催:あつぎ・九条の会 協賛:厚木市九条の会ネットワーク 問合せ:080-5034-3777(北川)、090-3912-6797(大友)

☆4月26日(土)13:30~16:00 大学人と日本共産党とのつどい シンポジウム 大学・学術の危機打開の展望を語る一

- 自民党政治の転換点のもとで** 会場：日本共産党本部多目的ホール（JR 代々木駅徒歩 5 分）& オンライン(YouTube)
パネリスト 本田由紀（東京大学大学院教育学研究科教授）／光本 滋（北海道大学大学院教育学研究科教授）／丹羽徹（龍谷大学法学部教授、全国学研会世話人、コーディネーター）／山添 拓（日本共産党政策委員長・参議院議員）
オンライン(YouTube) 参加の方は申込み不要 会場参加希望者は、名前、住所、メールアドレス、所属を記入し、全国学者・研究者後援会事務局宛て、メールまたは FAX でご送付ください。gakkenkai@jcp.jp FAX. 03-5474-8397
- ☆4 月 26 日（土）13:30～15:30 **最終回 日本の課題 CEDAW（女性差別撤廃条約）総括所見を読む会** 会場：横浜平和と労働会館 3 階会議室（JR 桜木町駅徒歩 5 分） オンライン無料 資料代 500 円 主催：女性差別撤廃条約実現アクション神奈川 申込み：opcedawkanagawa(at)gmail.com
- ☆4 月 23 日（火祝）14:00～16:30 **第 17 回昭和 100 年らしいですか いま、なぜ？「昭和の日」講演会** お話：原武史さん（明治学院大学名誉教授）「象徴天皇の実像『昭和天皇拝謁記』を読む」 会場：L プラザ（かながわ労働プラザ）第 3 会議室（石川町駅北口徒歩 5 分） 資料代 500 円（大学生以下無料） 主催：教科書・市民フォーラム 臨時連絡先：090-6021-0429
- ☆5 月 3 日（土）午後 **未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025 憲法大集会** 場所：東京有明臨海防災公園（ゆりかもめ有明駅、りんかい線国際展示場駅下車すぐ） 主催：平和といのちと人権を！5.3 憲法集会実行委員会 集会の趣旨に賛同し集会に参加いただける団体は、次にご連絡下さい。平和といのちと人権を！5.3 憲法集会実行委員会 連絡先：「戦争をさせない 1000 人委員会」Tel：03-3526-2920 Fax：03-3526-2921、「9 条を壊すな！実行委員会」Tel：03-3221-4668 Fax：03-3221-2558、「憲法をまもり・いかに共同センター」Tel：03-5842-5611
- ☆5 月 9 日（金）12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR 東神奈川駅東口デッキ 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会（045-231-0103）
- ☆5 月 17 日（土）14:00～16:30 **ノーベル平和賞受賞記念 安田和也さん講演会 広島・長崎 80 年、戦後核被害をたどる～第五福竜丸は核なき世界へと航海中です** 会場：磯子区民文化センター杉田劇場ホール（JR 新杉田駅徒歩 3 分、京急線杉田駅徒歩 5 分） チケット代：一般 1000 円、学生・高校生以下無料 講師：安田和也さん（都立第五福竜丸展示館学芸員） ノーベル平和賞受賞報告：和田征子さん（日本原水爆被害者団体協議会事務局次長） コーラス「ひこう船」の合唱 主催：根岸線沿線九条の会連絡会 問合せ：090-7175-1911、goto(at)kd5.so-net.ne.jp
- ☆5 月 17 日（土）14:00～16:30 **シンポジウム：東アジアでの平和の準備を in 福岡** 会場：福岡国際会議場 2 階多目的ホール（地下鉄呉服町駅徒歩 12 分） YouTube 同時配信予定 入場無料 コーディネーター：瀬藤厚さん、猿田佐世さん、仲山忠克さん、志位和夫さん 共催：全国革新懇、福岡革新懇 問合せ：03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org
- ☆5 月 24 日（土）10:30～16:30 **全国革新懇第 44 回総会** 会場：全労連会館 2 階ホール（御茶ノ水駅徒歩 8 分） 参加希望者は 5 月 14 日までに連絡ください。主催：平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇） 問合せ：03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org
- ☆5 月 25 日（土）13:30～16:00 **第 15 回鶴見平和フェスティバル 平和を創る集い in 鶴見 守ろう憲法！取り戻そう世界に平和を！** 会場：鶴見公会堂ホール（JR 鶴見駅西口直結、西友鶴見店 6 階） 参加費 999 円、高校生以下無料 公演：松元ヒロさん（スタンダップコメディアン） 和太鼓演奏：笑鼓楽 歌声：南部合唱団 呼びかけ人 後藤仁敏（鶴見大学名誉教授）、前川雄司（弁護士）、宮澤由美（汐田総合病院院長）、野末浩之（横浜勤労福祉協会理事長） 主催：実行委員会 連絡先：よこはま健康友の会事務局（045-947-3260）
- ☆5 月 25 日（日）14:00～16:00 **第 97 回草の根歯科勉強会 加害者を放置したままでいいのか？** 講師：山口のり子氏（一般社団法人アウェア） 会場：梨の木カフェ（10 名まで、JR 水道橋駅東口徒歩 5 分）と zoom 併用 要申込 参加費無料（希望者はコーヒー代 500 円） 主催：草の根歯科研究会 問合せ：yayoiokada(at)pcsu.mfnet.ne.jp（岡田弥生）

日本科学者会議神奈川支部第 61 回定期大会のお知らせ

JSA 神奈川支部幹事会

第 61 回支部定期大会を開催しますので、会員には参加していただくようお願いいたします。なお、欠席される会員は委任状の提出をお願いいたします。記念講演の要旨などの詳細は次号でお知らせします。

日時：5 月 10 日（土）14：00～16 時半

会場：かながわ労働プラザ第 5 会議室（JR 石川町駅北口徒歩 3 分、地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩 12 分）

記念講演：「再生可能エネルギーと環境影響評価」 石原 元（当支部会員）

現在、従事されている秋田県の洋上風力発電の環境影響評価と漁業影響の調査をおもにお話しいただきます。その他、話題提供を予定しています。

議案審議：活動報告、活動方針（案）、予算決算（案）、全国大会代議員選出、役員選出など。大会終了後、懇親会を行います。

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業 3 月は幹事会はお休みです。次回は 4 月 15 日です。

日時：4 月 15 日（火）14 時 30 分～16 時、14 時 30 分から発送作業、15 時から幹事会の予定。

会場：かながわ総研事務所（横浜市中区不老町 1-6-9 第 1HB ビル 5 階、1 階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの 5 階、JR 関内駅西口徒歩 3 分）、Zoom 参加の案内は後日メールで連絡します。

連絡先：飯岡ひろし（携帯：080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com）